

穂積俊文博士から寄贈された名古屋市産 トゲナベブタムシの標本について

長谷川道明*

A note on the specimens of *Aphelocheirus nawae* Nawa (Hemiptera: Aphelocheiridae)
collected in Nagoya City, donated by Dr. Toshifumi Hozumi
to Toyohashi Museum of Natural History

Michiaki Hasegawa*

はじめに

豊橋市自然史博物館では、昨年東海地方のアマチュア甲虫研究家として知られる小牧市在住の医師、穂積俊文博士より、かつて名古屋市内で採集されたトゲナベブタムシの標本の寄贈を受けた。

トゲナベブタムシ *Aphelocheirus nawae* Nawa は、岐阜県産の標本に基づいて記載された昆虫で、カメムシ目ナベブタムシ科に属する。生活環を通じて清流中に生息し、日本では愛知県あたりを東限とする本州、九州、国外では朝鮮半島とシベリア南部に分布が知られている（友国ほか、1995）。

ナベブタムシ科の昆虫は、成虫ではプラスチック呼吸を、幼虫では皮膚呼吸を行い、生活環を通して水中の酸素を体内に取り入れるため、界面活性剤などによる水質汚染にきわめて弱い存在として知られている（友国、1996；緒方、2000）。日本には、ナベブタムシ、トゲナベブタムシ、カワムラナベブタムシの3種が知られているが、琵琶湖水系特産であったカワムラナベブタムシは1960年代初期に得られた標本を最後に、その後確認されていない（友国ほか、1995）。今回報告するトゲナベブタムシも現在では、国内で数箇所ではしか生息が確認できなくなっており、環境省により「絶滅危惧Ⅰ類」に指定されている。したがって、このたび寄贈を受けた標本はトゲナベブタムシの分布データ

ならびに愛知県の野生生物保全においてきわめて重要な意味を持つものと考えられるので、ここに詳しく紹介したい。

標 本

1成虫（TMNH-I-2104）、1幼虫（TMNH-I-21095）、石川橋、1942年8月30日、穂積俊文採集。豊橋市自然史博物館保管（第1図）。

石川橋は、愛知県名古屋市昭和区の山崎川にかかる橋である（第2図）。なお、同じデータラベルをもつ標本は、今回寄贈を受けた2個体以外に、別に1個体現存し、佐藤正孝博士の下に保管されている。

愛知県内のトゲナベブタムシに関する文献

浅岡・家城（1990）は、愛知県の異翅目についてまとめたが、トゲナベブタムシはリストの中に含まれていない。しかしながら、友国ほか（1995）、友国（1996）に、「基準産地の岐阜県や愛知県のいくつかの河川には多産したことが古い文献に記されており（以下省略）」とあるように、いくつかの文献にその記録をみることができる。

これまでの筆者の調査の結果、愛知県内のトゲナベブタムシに関して以下の文献記録が確認された（年代順に配列）。

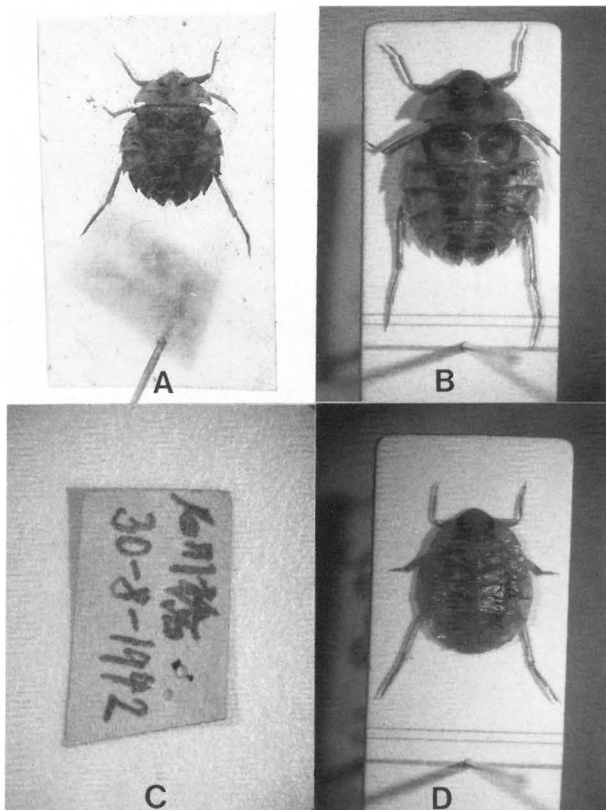
* 豊橋市自然史博物館。Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi 441-3147, Japan.

原稿受付 2005年12月13日。Manuscript received Dec. 13, 2005.

原稿受理 2006年1月4日。Manuscript accepted Jan. 4, 2006.

キーワード：トゲナベブタムシ、愛知県、名古屋市、穂積俊文。

Key words: *Aphelocheirus nawae*, Aichi Prefecture, Nagoya City, Toshifumi Hozumi.



第1図. 愛知県産トゲナベブタムシ。
A, TMNH-I-21094 標本; B, Aと同じ個体（汚れ
などを除去し再マウントしたもの）; C, 標本に
つけられていたラベル; D, TMNH-I-21095 標本。



第2図. 現在の山崎川石川橋付近。（2004年6月撮影）

服部廣吉, 1937, 昆虫界, 5(43): 821-822.

1937年5月13日に石川橋楓橋付近の山崎川に多産することを報告。発見できるのは、石川橋と楓橋の間付近のみで、川底に拳大の石がある水深10cm～30cmのところにもっと多いとしている。

山田満寛, 1939, むし, 12(1): 62.

朝鮮半島産の記録を掲載する中で、比較資料として

1934年8月29日に幡豆郡西尾町八ッ面で採集した1メス、ならびに長野県上田市で宮本正一氏が採集した1オスの記録を紹介。

穂積俊文, 1945, 愛知の昆虫誌, 5(11): 64.

服部(1937)の記録を受け、1942年8月に石川橋を訪れ、多数の生息を確認したことを報告している。今回寄贈を受けた標本は、この報文の調査年月と一致していることから、その証拠標本であると判断できる。なお、同文中には、東春日井郡勝川付近（現・春日井市）の庄内川にも生息し、魚肉等を川に放置すればこれに集まるといった情報があることもあわせて紹介している。

佐藤正孝, 1955, 名古屋生物同好会々報, 3(1): 2.

トゲナベブタムシの名古屋付近の記録として“自然クラブ Pamphlet VIII, No. 34.”（筆者不詳、発行年不明）を引用している。残念ながらこの文献は実見できていない。

中根猛彦, 1964, 京都の自然, p. 161.

本文中に以下のような記述がある。

「(前略) トゲナベブタムシは京都ではまだとったことがないが、名古屋東部の石川橋の近くでは多数採集して暫く飼ったことがある。」

大原昌宏北海道大学助教授のご好意によって、現在北海道大学博物館に保管されている故・中根猛彦博士が所蔵していた昆虫標本コレクションを調査していただいたが、残念ながら、上記の記述に合うものも含めトゲナベブタムシの標本は、1個体も見出すことはできなかった。

考 察

愛知県は、トゲナベブタムシの国内における分布東限地として注目される地域であるが、その情報はきわめて貧しい。文献または残された標本から、名古屋市昭和区石川橋付近の山崎川、西尾市八ッ面、春日井市勝川橋付近の庄内川の3箇所から採集記録があることが確認された。また今回博物館に寄贈された石川橋産の標本は、穂積(1945)の証拠標本にあたるものであった。石川橋以外の産地の標本については確認できていない。

愛知県環境部自然保護課(2002)は、愛知県の絶滅のおそれのある野生生物をまとめたが、これにはトゲ

ナベブタムシは掲載されていない。しかし、これまで述べてきたように、トゲナベブタムシが愛知県内に生息していたことは、確実である。さらに1942年以降確実な生息情報が得られていないことから、愛知県環境部自然保護課（2002）の評価区分基準に従うと「絶滅」のカテゴリーに入るものとみなされる。

石田・吉安（2004）によると、トゲナベブタムシが現在も生息している兵庫県武庫川の生息環境は、河床は中礫やときに大礫（径64～256mm）が混じるが砂と細礫の占める割合が高く、溶存酸素量は8.3mg/l、流速は比較的速い41.9cm/sec. β 中腐水性水域で、カワニナ類やシマトビケラ類が多く、マダラカゲロウ類、コカゲロウ類、モンカゲロウなどの水生昆虫も豊富であると報告している。戦前の石川橋付近も、カワニナが多く、ゲンジボタルの発生がみられた（中根，1964；佐藤正孝，私信）。

謝 辞

本文を草するにあたり、貴重な文献のご恵与を頂き、数々の重要なお助言を頂いた高橋 昭名古屋大学名誉教授、佐藤正孝名古屋女子大学名誉教授、快く文献を複写して下さった愛媛大学の大林延夫教授、中根猛彦コレクションの調査をして下さった北海道大学博物館の大原昌宏助教授に深く感謝申し上げます。最後に貴重な標本を寄贈して下さった穂積俊文博士に心より感謝申し上げます。

引用文献

- 愛知県環境部自然保護課，2002. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいちー動物編一，愛知県，xi+596p.
- 浅岡孝知・家城 司，1990. 愛知県の異翅目. 愛知県の昆虫（上），愛知県自然保護課，123-162.
- 服部廣吉，1937. 愛知の昆蟲雑記(3). 昆蟲界，5(43): 821-822.
- 穂積俊文，1945. トゲナベブタムシ(*Aphelocheirus nawae* Nawa) について. 愛知の昆蟲誌，5(11): 64.
- 石田直人・吉安 裕，2004. 近畿地方におけるナベブタムシ属2種（半翅目・ナベブタムシ科）の生活環境ならびにそれらの発育と生息環境. *Jpn. J. Ent. (N. S.)*, 7(2): 55-68.
- 中根猛彦，1964. ナベブタムシ. 京都の自然 増補版，161，六月社.
- 緒方 健，2000. プラストロン呼吸を行う水生昆虫に対する界面活性剤の影響. 環境毒性学雑誌，3: 83-86.
- 佐藤正孝，1955. 岐阜県瑞浪の興味ある半翅目に就いて. 名古屋生物同好会々報，3(1): 2, 4.
- 友国雅章，1996. ナベブタムシ類. 昆虫と自然，31(6): 27-29.
- 友国雅章，佐藤正孝，市川憲平，荒木 裕，二宗誠治，1995. 絶滅が危惧されるカワムラナベブタムシと，兵庫県で生息が確認されたトゲナベブタムシ. *Rostria*, 44: 21-25.
- 山田満寛，1939. 朝鮮半島産水棲昆蟲数種. むし，12(1): 56-63.